



IKKO NARAHARA

Art Document 2025

Commemorating the Donation of Works

A Journey Through Time and Space

Photographs by Ikko Narahara

アートドキュメント2025 | 受贈記念

時空の旅——奈良原一高の写真

2026年1月17日[土]—3月8日[日]

時間 | 10:00–17:00 (最終入場16:30) 休館日 | 月曜日 (祝日開館、翌平日休館)

観覧料 | 一般:600円(400円)、65歳以上・障がい者:300円 高校生以下・障がい者の介護者(当該障がい者1人につき1人)無料 * ()内は20人以上の団体料金

主催 | (公財)金津創作の森財団 共催 | あわら市、あわら市教育委員会、福井新聞社

後援 | 福井県、(公財)福井県文化振興事業団、北國新聞社、北日本新聞社、FBC、福井テレビ、FM福井、

福井ケーブルテレビ・さかいケーブルテレビ、(一社)あわら市観光協会、月刊URALA編集室

助成 | 一般財団法人 自治総合センター 協力 | 奈良原一高アーカイブズ 学術協力 | 蔦谷典子

金津創作の森美術館 | アートコア ミュージアム-1、ギャラリー | <https://sosaku.jp/>



2020(令和2)年度、日本を代表する写真家・奈良原一高(1931-2020)氏のご遺族より、貴重な作品153点を当館にご寄贈いただきました。これを祝して受贈記念展を開催いたします。

奈良原は、戦後日本の写真界を牽引した写真家であり、国内外から高い評価を受けています。1956年、早稲田大学大学院在学中に初個展「人間の土地」で鮮烈なデビューを飾り、写真界を震撼させるほどの大きな反響を巻き起こし、写真の新時代を切り拓いていきました。1958年には「王国」で日本写真批評家協会新人賞を受賞。その後、ヨーロッパ、アメリカへと活動の場を広げ、写真集『ヨーロッパ・静止した時間』、『消滅した時間』、『ヴェネツィアの夜』などに纏められる珠玉の作品群を発表していきます。今回の受贈はこれらの代表作を網羅した作品群です。自ら身を置く「場」を移しながら、時空を超えてそこに生きる人間の生と死を、また人間の創り出す文明の光景を、巨視的な視座で捉え、深い思索と詩情豊かな映像を生み出していました。

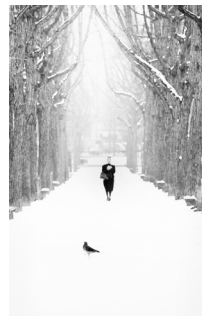
本展では、代表的なシリーズから約80点に加え、1986年の個展以来未公開となっていたシリーズ《デジタル・シティ ヒューストン》を40年ぶりに展観する機会となりました。奈良原の透徹したまなざしが生み出す魅惑的な世界を、ぜひこの機会にご堪能ください。



1



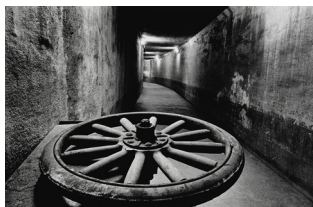
2



3



4



5



6

- 1 《二つのゴミ罐 ニュー・メキシコ 1972 (消滅した時間) より》1972年
 - 2 《サン・マルコの象徴「復活を表す翼のあるライオン」を載せた円柱、サン・マルコ小広場(ヴェネツィアの夜)より》1964-1968年
 - 3 《PARIS(ヨーロッパ・静止した時間)より》1965年
 - 4 《沈黙の園(王国)より》1958年
 - 5 《緑なき島・軍艦島(人間の土地)より》1957年
 - 6 《デジタル・シティ ヒューストン #1》1985年
- 表 《砂漠の中を走る車の影(消滅した時間)より》1971年

奈良原一高 Ikko Narahara

1931(昭和6)年-2020(令和2)年

福岡県に生まれる。1956年、初個展「人間の土地」により、戦後日本の写真表現を塗り替えるほどの衝撃を与えた。この個展を契機として新鋭の写真家たちが集い、写真のセルフ・エージェンシー[VIVO]を結成していく。第2回個展「王国」で日本写真家協会新人賞を受賞。その後、ヨーロッパ、アメリカと自らの身を置く場を移しながら、写真集『ヨーロッパ・静止した時間』、『消滅した時間』など、人間の創り上げた文明の光景を映し出す珠玉の作品群を生み出していった。日本を代表する写真家であるとともに、国際的にも高い評価を受けている。



奈良原一高
山中湖にて1999年1月
©Keiko Narahara

金津創作の森美術館

KANAZAWA FOREST of CREATION ART MUSEUM

2026年1月17日[土]—3月8日[日]

時間 | 10:00-17:00(最終入場16:30) 休館日 | 月曜日(祝日開館、翌平日休館)

観覧料 | 一般:600円(400円)、65歳以上・障がい者300円

高校生以下・障がい者の介護者(当該障がい者1人につき1人) 無料 * ()内は20人以上の団体料金

主催 | (公財)金津創作の森財団 共催 | あわら市、あわら市教育委員会、福井新聞社 後援 | 福井県、(公財)

福井県文化振興事業団、北國新聞社、北日本新聞社、FBC、福井テレビ、FM福井、福井ケーブルテレビ・さかいケーブルテレビ、(一社)あわら市観光協会、月刊URALA編集室 助成 | 一般財団法人 自治総合センター

協力 | 奈良原一高アーカイブズ 学術協力 | 薦谷典子



<https://sosaku.jp/>



アクセスマップ

Access map

北陸自動車道金津ICから車で5分
JR芦原温泉駅からタクシーで約10分

